

幼児教育学科

科目名: 幼児教育演習 I			担当教員 氏名: 宮越 浩子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのよう教育現場での教員経験をもとに、子どもがどのような場面でのどのような困り感を抱くのかについて具体的な授業を行っているか、具体的な事例を通して理解するとともに、子どもの実態に合った関わり・支援の在り方を実践的に学ぶ。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
困り感のある子どもなどの発達やその行為への理解を深めること及び子どもへのよりよいかかわり・支援を研究テーマとする。各自が課題を設定して、学生の主体的な調査、観察、討議などに基づき演習を進める。					困り感、子どもの発達、子どもの行為、子どもの生活支援、子どもの遊び、障がい
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 5. 6. 7. 8. 9.			
A 知識・理解力	困り感のある子どもなどの発達の理解と子どもへのよりよいかかわり・支援について理解を深める。また、現場での子どもの観察・関わりを通し、子ども理解を深める。				
B 専門的技術	現場での子ども理解をもとに、子どもの実態に合った、かかわり・支援の在り方を学ぶ。				
C 論理的思考力	自分の演習テーマ・研究課題を設定し、現場での子どもとの関わりをもとに考察を深める。				
E 自己管理能力	保育・教育・福祉の現場ではたらくことができる「私」づくりを目指す。				
H コミュニケーション力	発表場面等で自分の学びを適切に伝えられる。また、積極的にディスカッションに参加する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 40 %	発表: 10 %	実技試験: %	その他: 50 %	
特記事項:「レポート:40%」は、文献や実習体験などからのレポートと前期を通して作成する論文から評価する。「発表:10%」は、集団的な学びの場での発表を評価する。「その他:50%」は、アクティブラーニングの一環として、現場での子どもたちの観察・ふれあい・実践への参加・事前の準備などの態度を評価する。					
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:レポートは、ゼミでの学び、文献や実習体験などをもとに作成する。発表は、集団的な学びの場での発表と終末に各自のテーマに基づく発表会を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:レポートは評価終了後、論文作成については毎時間、評価を伝え、学びを深めることができるよう指導する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、研究の進め方について(研究内容、研究方法、日程的な見直しなど)			各自の研究計画作成	【予習】60分 【復習】60分	
②子どもの障害の支援を学ぶ1(障害児施設でのふれあい・支援Ⅰ)			②での気付き・学びの振り返り	【予習】60分 【復習】60分	
③子どもの障害の支援を学ぶ2(障害児施設でのふれあい・支援Ⅱ)			③での気付き・学びの振り返り	【予習】60分 【復習】60分	
④子どもの障害の支援を学ぶ3(②③での学びの振り返り、障害児との実践の計画作成Ⅰ)			②③での気付き・学びのレポート作成、 ④の計画作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑤子どもの障害の支援を学ぶ4(障害児との実践の計画作成Ⅱ)			⑤の計画作成・教材準備	【予習】60分 【復習】60分	
⑥子どもの障害の支援を学ぶ5(障害児との実践の計画作成Ⅲ)			⑥の計画作成・教材準備	【予習】60分 【復習】60分	
⑦子どもの障害の支援を学ぶ6(障害児との実践Ⅰ)			⑦での気付き・学びの振り返り	【予習】60分 【復習】60分	
⑧子どもの障害の支援を学ぶ7(障害児との実践Ⅱ)			⑧での気付き・学びの振り返り	【予習】60分 【復習】60分	
⑨子どもの障害の支援を学ぶ8(⑦⑧での学びの振り返り・討議)			⑦⑧での気付き・学びのレポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑩各自のテーマにもとづく個別指導1			各自の研究レポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑪各自のテーマにもとづく個別指導2			各自の研究レポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑫各自のテーマに応じた個別指導3			各自の研究レポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑬各自のテーマに応じた個別指導4			各自の研究レポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑭各自のテーマに応じた個別指導・討議(発表に向けて)			各自の研究レポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑮全体(またはゼミ内)発表			⑮の学びのレポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
使用テキスト:使用しない。適宜、資料を配布したり、紹介したりする。			その他参考文献など:「こんなとき、どうする?発達障害のある子への支援 幼稚園・保育園」ミネルヴァ書房、「フォーラム21 困難をかかえた子どもを育てる」新読書社		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):各自が問題意識をもち、探り、深めながら、積極的に演習に取り組みましょう。前期及び夏休み中に障がい児・者とかかわるボランティア参加を推奨します。子どもの姿を問題意識に基づきながら捉えなおし、実践につながるように研究を進めていきましょう。					